

令和6年9月期 横浜市感染症発生動向調査委員会報告

《今月のトピックス》

- 百日咳、伝染性紅斑、マイコプラズマ肺炎の報告が増加しています。咳エチケットや手洗いなど、基本的な感染対策を心がけましょう。
- 腸管出血性大腸菌感染症の報告が多くなっています。肉などの食品は十分に加熱し、調理や食事の前、トイレの後などにはしっかり手を洗いましょう。
- 手足口病、新型コロナウイルス感染症の報告が続いています。
- 梅毒は20歳代～50歳代を中心に、幅広い年齢層で患者が多く発生し、10代の報告、妊婦の報告もみられます。より一層の注意が必要です。

◇ 全数把握の対象 <2024年8月19日～9月22日に報告された全数把握疾患>

細菌性赤痢	4件	劇症型溶血性レンサ球菌感染症	4件
腸管出血性大腸菌感染症	20件	後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む)	5件
E型肝炎	3件	侵襲性肺炎球菌感染症	4件
レジオネラ症	5件	梅毒	40件
アメーバ赤痢	2件	破傷風	1件
カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症	6件	百日咳	23件
急性脳炎	2件	薬剤性アシネトバクター感染症	1件
クロイツフェルト・ヤコブ病	1件		

1. **細菌性赤痢**:10歳未満～60歳代で、いずれも Sonnei (D群)です。いずれも国内での感染で、経口感染と推定される報告が1件、接触感染と推定される報告が3件です。
2. **腸管出血性大腸菌感染症**:10歳未満～90歳代で、O血清群はO157が14件、O103、O128、O145、O148が各1件、O血清不明が2件です。経口感染と推測される報告が11件、経口感染又は接触感染と推定される報告が1件、感染経路等不明の報告が8件です。
3. **E型肝炎**:40歳代及び80歳代で、いずれも経口感染と推定されています。
4. **レジオネラ症**:50歳代～80歳代で、いずれも肺炎型です。水系感染と推定される報告が1件、塵埃^{じんあい}感染と推定される報告が1件、その他の感染経路と推定される報告が1件、感染経路等不明が2件です。
5. **アメーバ赤痢**:40歳代及び70歳代で、いずれも腸管アメーバ症です。いずれも感染経路等不明です。
6. **カルバペネム耐性腸内細菌目細菌感染症**:60歳代～90歳代で、以前からの保菌と推定される報告が2件、医療器具関連感染と推定される報告が1件、以前からの保菌又は手術部位感染と推定される報告が1件、以前からの保菌又は院内感染と推定される報告が1件、感染経路等不明が1件です。
7. **急性脳炎**:10歳未満及び70歳代で、病原体はいずれもヒトヘルペスウイルス6型(HHV6)です。感染経路等不明です。
8. **クロイツフェルト・ヤコブ病**:70歳代で、古典的CJDです。
9. **劇症型溶血性レンサ球菌感染症**:30歳～80歳代で、血清型A群が2件、G群が1件、血清群不明が1件です。創傷感染と推定される報告が1件、その他の感染経路と推定される報告が2件、感染経路等不明が1件です。
10. **後天性免疫不全症候群(HIV感染症を含む)**:20歳代～50歳代で、AIDSが1件、無症状病原体保有者が4件です。同性間での性的接触と推定される報告が4件、感染経路等不明が1件です。
11. **侵襲性肺炎球菌感染症**:10歳未満～80歳代(ワクチン接種歴4回1件、1回1件、無1件、不明1件)で、いずれも感染経路等不明です。
12. **梅毒**:10歳代～70歳代で、早期顕症梅毒Ⅰ期14件、早期顕症梅毒Ⅱ期13件、無症状病原体保有者11件、晩期梅毒1件です。性的接触による感染と推定される報告が35件(異性間25件、同性間3件、性別不詳7件)、感染経路等不明が5件です。
13. **破傷風**:60歳代(ワクチン接種歴不明)で、創傷感染と推定されています。
14. **百日咳**:10歳未満～70歳代(ワクチン接種歴5回1件、4回10件、無1件、不明11件)で、家族内感染と推定される報告が5件、周囲の流行による感染と推定される報告が1件、感染経路等不明が17件です。
15. **薬剤耐性アシネトバクター感染症**:40歳代で、感染経路等不明です。

この報告とデータの詳細については、下記に掲載されていますので、ご参照ください。

横浜市衛生研究所ウェブページ

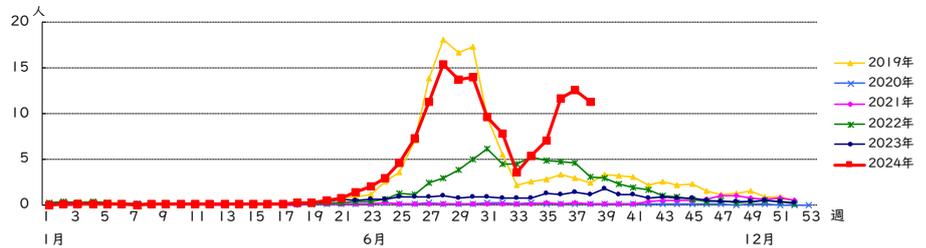
URL: <https://www.city.yokohama.lg.jp/kenko-iryo-fukushi/kenko-iryo/eiken/>

報告週対応表	
2024年第34週	8月19日～8月25日
第35週	8月26日～9月1日
第36週	9月2日～9月8日
第37週	9月9日～9月15日
第38週	9月16日～9月22日

◇ 定点把握の対象

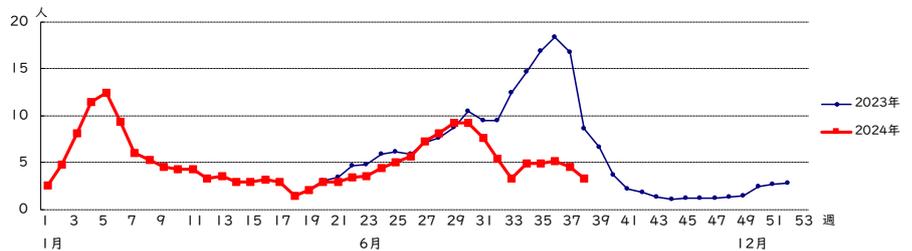
1 手足口病

2024年第26週に7.22となり、警報発令基準値(5.00)を上回りました。第34週以降再び増加に転じ、第38週は11.22です。



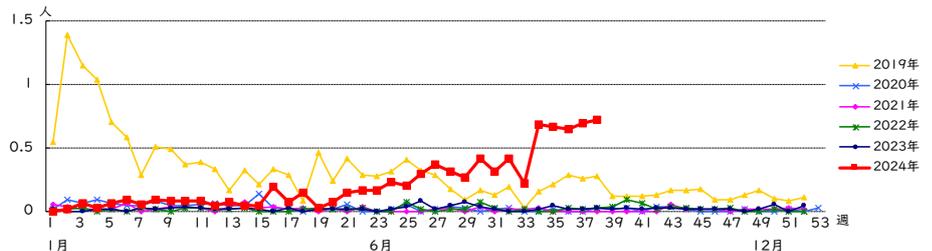
2 新型コロナウイルス感染症

2024年5月以降増加傾向が続いていましたが、第29週の9.15をピークに減少しています。第38週は3.13です。



3 伝染性紅斑

2024年第20週以降増加傾向がみられ、第34週以降は例年の同時期と比較し多い状態で推移しています。第38週は0.72です。



4 性感染症(2024年8月)

性器クラミジア感染症	男性:42件	女性:30件	性器ヘルペスウイルス感染症	男性:9件	女性:6件
尖圭コンジローマ	男性:9件	女性:0件	淋菌感染症	男性:9件	女性:2件

5 基幹定点週報

	第34週	第35週	第36週	第37週	第38週
細菌性髄膜炎	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
無菌性髄膜炎	0.25	0.00	0.25	0.00	0.00
マイコプラズマ肺炎	1.50	2.50	2.25	2.00	4.25
クラミジア肺炎(オウム病を除く)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
感染性胃腸炎(ロタウイルスに限る)	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

6 基幹定点月報(2024年8月)

メチシリン耐性黄色ブドウ球菌感染症	5件	ペニシリン耐性肺炎球菌感染症	0件
薬剤耐性緑膿菌感染症	0件	-	-